

としょえもん

平成 30 年度
第 3 号

平成 30 年度 調べる学習コンクール入賞作品

「調べる学習コンクール～図書館・学校図書館で調べてみよう～」の入賞作品が決まりました。

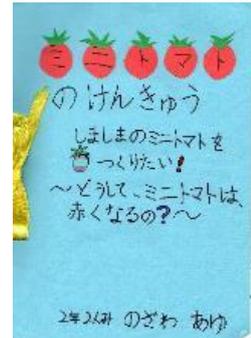
梶田小学校 2年

野澤 愛由 さん

「ミニトマトのけんきゅうーしましまのミニトマトをつくりたい！
～どうして、ミニトマトは赤くなるの？～」

夏休み、おじいちゃんの畑で採れるミニトマトにいろいろな色があることから「縞模様のトマトはできるかな？」と研究を始めました。トマトが赤くなるひみつにも迫ります。

八王子市長賞



高嶺小学校 3年 知久馬 咲季 さん

「牛乳の味のひみつ」

農業体験ツアーに参加し、「牛の種類によって牛乳の味はちがうのかな？」と思い、調べました。自分の舌で確かめた結果は？



教育長賞



愛宕小学校 4年 境 健心 さん

「刀の研究～下原刀復活プロジェクト～」

侍が刀を使うシーンが好きな境さんは、砂鉄とりから刀匠の技までを体験しながら調べました。



調べる学習のような探究的学習はこれからの社会で重視されている能力を育みます。来年は中学生の作品が多く寄せられることを期待します。

市長賞となった野澤さんは、縞模様のトマトができるか、実際に栽培実験に取り組みながら、調べたことを著した作品でした。教育長賞の知久馬さんは牛乳の味が違った体験を出発点に調べた作品でした。いずれの作品も実体験をもとにした、実感の伴う、優れた探究でした。同じく教育長賞の境さんは、調べることの楽しさが伝わってくる作品でした。

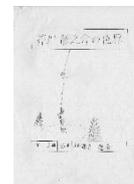
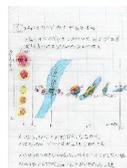
第2回八王子市『調べる学習コンクール』には、467点（小学校444点、中学校23点）の応募がありました。昨年は市制百周年記念ということもあり、応募は1478点でしたので、それに比べると三分の一となつてしまったことは残念ですが、優秀な作品が多く寄せられました。

平成30年度

調べる学習コンクール講評
鎌田和宏（帝京大学教授）



| 賞 | 学校名 | 学年 | 名前 | 作品タイトル |
|------|---------|----|--------|----------------------------------|
| 市長賞 | 梶田 小学校 | 2 | 野澤 愛由 | ミニトマトのけんきゅう |
| 教育長賞 | 高嶺 小学校 | 3 | 知久馬 咲季 | 牛乳の味のひみつ |
| | 愛宕 小学校 | 4 | 境 健心 | 刀の研究～下原刀復活プロジェクト～ |
| 優秀賞 | 片倉台 小学校 | 1 | 八木 航生 | どうしてちきゅうにはうみがあるのか？どうやってうみができたのか？ |
| | 第四 小学校 | 2 | 吉田 智歩 | 川ってなあに |
| | 片倉台 小学校 | 3 | 北川 千絵 | カイコってすごい!! |
| | 愛宕 小学校 | 4 | 井口 瑛太 | 太陽系の惑星「地球がこわれたらどこに住む」 |
| 優良賞 | 高嶺 小学校 | 1 | 荒木田 陽都 | ティラノサウルスのまえあしは、なぜ2本なのか |
| | 甲ノ原 中学校 | 1 | 亀井 遥香 | 芥川龍之介の世界 |



市長賞講評

樋口 忍 (明星大学客員教授)

「しましまのミニトマトをつくりたい!～どうして、ミニトマトは、あかくなるの?～」というタイトルに込められた愛由さんの子供らしい疑問と発想にひかれました。学校とお家でのミニトマトの観察から興味を持ち、実験に工夫を重ね、記録し疑問点は調べ、そして次の疑問へと、どんどんと探究していく過程がとても素晴らしいことだと思います。

また、実験・観察したミニトマトの種類の数にも驚きました。しましまのトマトを作ろうと、自分で考えいろいろ試し、結果を分析しさらに工夫を重ねて、「ミニトマトがなぜ赤くなるの」という疑問にせまっていきました。読ませていただいて、愛由さんの研究への楽しさ、面白さが伝わってきました。大変、素晴らしい作品です。

発行：2019（平成31）年 3月1日
 問い合わせ先：八王子市学校図書館サポートセンター
 〒193-0832 八王子市散田町2-37-1
 電話042-664-1135

教育長賞講評

秋本 浩市 (帝京大学客員准教授)

「牛乳の味のひみつ」

知久馬さんは農業体験で牧場に行った時、牛乳の味が牛の種類によって違うことを知り、その事について調べてみようと思ったようです。大変子供らしい純粋な発想だと感じました。実際に自分の味覚から3種類の牛乳を飲み比べました。さらに、研究を深めアイスにして味比べもし、探究心の高さには感心しました。

「刀の研究～下原刀復活プロジェクト～」

境さんは刀の研究というテーマで調べました。日ごろの学校での学習を生かし、一章では刀の疑問、二章では刀を見て、三章では刀プロジェクトに参加して、各章ごとの確にまとめています。実際に刀を見て感じとり、刀匠から話を聞くなど研究意欲が豊富です。小学校4年生としては大変高度な研究だと感心しました。刀に興味を持ち素晴らしい視点から研究報告ができたことは驚きです。